

Teens Letter

習志野市立中央図書館
習志野市本大久保 3-8-19
TEL:047-475-3213
ホームページ



<https://www.narashino-lib.jp>

ティーンズレター
VOL.56

ちよいと花見だ!

桜

『サクラ咲く』
辻村 深月/著
光文社

たった一言きれいな字で「サクラチル」と書かれた便せんを図書室の本の間から見つけたマチ。やがて「誰か」とマチの文通が始まります。



『さくら日和』
さくら ももこ/著
集英社

「ちびまる子ちゃん」の作者による爆笑エッセイ。人生何が起きるか分からないものですね。



『桜花京用心棒綺譚』
八巻 には/著
KADOKAWA

桜咲く都に現れた怪異は野山育ちの小鬼の少女?おい、どこに常識忘れてきた!



『桜嵐恋絵巻』
深山 くのえ/著
小学館

鬼姫と皆から疎まれる少女と恋に不器用な青年の花咲く桜の下での出会いから始まるときめき平安ラブロマン。



『サクラオト』
彩坂 美月/著
集英社

「サクラオト」から始まる本格ミステリー連作短編集。各話に散りばめられたkeyを見つけ出せ!



『桜の森の満開の下』
坂口 安吾/著
立東舎

山賊が山で攫ってきた美しい女の正体は…。



『桜』
『現代用語の基礎知識』
編集部/編
自由国民社

春を告げる日本の象徴「桜」を文化と合わせて様々な観点から学んでみましょう。



『一度は見たい桜』
森田 敏隆/写真
宮本 孝廣/写真
光村推古書院

日本全国の桜の写真集。美しい桜景色の絶景をおうちで楽しもう。



編集後記 ティーンズレター第56号はいかがでしたか?今回は夏頃にお会いしましょう♪

子どもの頃はよもぎ餅づくりのためよもぎを摘みこいかさされたものの、美味しさがまったく分かりませんでした。しかし年をとるにつれよもぎ団子やよもぎ大福の美味さに目覚めました! お腹すいた。。食べた。(コロ)

春といえば桜、桜といえば桜餅!♡みんなは薄皮の長命寺ともち米の御明寺どっちが好き?おもちはコロコロの長命寺派だよ!(おもち)

春の息吹を感じて

これを読め

3月4日「これを読め♡」
2023年にティーンズコーナーに
仲間入りの本の中から担当者
イチオシの本をご紹介します！

『巨大工場探訪ガイド』 小林 哲朗／著 玄光社

工場一帯に灯る光。もくもくと夜空へ漂ってゆくスチーム。かすかに聞こえる稼働音。ちょっと幻想的なのに、眺めているとなぜかほっとしてしまう。そんな景色を実際に見られる全国45都市114か所を紹介した工場探訪ガイドです。そんな景色を撮影したい！という人に向けて、構図、季節や時間帯によって見え方の違い、撮影後のレタッチ方法も伝授してくれます。



『「米粉」で作るいつものお菓子』

柳谷 みのり／著 文化学園文化出版局

サクッふわ、サクサクしっとり、外はカリッと中はもちっ。
お米を砕いて粉上にした「米粉」をつかってめっちゃうまお菓子を
作ってみませんか？まずはスノーボールなんていかがでしょう？も
しかしたらお店で買ったものよりおいしくできちゃうかも。



『嫌な気持ちになったら、どうする？』

中村 英代／著 筑摩書房

怒りがおさまらない！恥ずかしい…。悲しい。どうして自分はこんなにダメなんだろう…。そんなネガティブな感情になることは、日常生活の中でもよくあり、それをコントロールすることは大人でも結構苦労します。そういった感情を避けて通ることもできない。だから上手に付き合っていけたらいいですね。それぞれのネガティブな感情の性質を知り、心地よく過ごすヒントを紹介します。



『憲法』 伊藤 真／監修 伊藤塾／著 弘文堂

憲法かぁ、難しそうだなと思いつつパラパラとめくっていると何やら気になる文章が…。ルパン5世？富士山に隕石落下？モンスターペアレンツ？飽きずに続ける法律学習の第一歩としていかがでしょうか？



『優等生サバイバル』 ファン ヨンミ／作 評論社

進学校に首席で入学したのも束の間、その後トップを取ること
もできず、学校生活に思い悩むジュノ。惹かれているユビンの
ように将来に対する明確なビジョンもない。進路にテストに恋
に…やらなきゃいけないこと、考えなくちゃいけないことは山
積みだ！そんなハードな高校生活を生き抜くためにジュノが導
き出した法則とは…？



『真夜中のウラノメトリア』

神田 濤／著 KADOKAWA

1ページに1話、140文字の物語×235話の超短編連作集。どこ
から読み始めてもよし、途中でやめてもよし。全体を読み終えたとき、あなたは一人の少年の選択と覚悟の果ての冒険譚を知ることになるでしょう。意味深なイラストにも注目。



『人間やめたマヌルさんが、あなたの人生占います』

～適当ですがあしからず～』 音 はつき／著 ポプラ社

「で、あんたは何を占ってほしいって？」
言葉を操り、まるで人間のように行動するマヌルネコのマヌルさん。
彼女は喫茶マヌルに訪れたお客さんに無料でテキトーながらも適当な占いサービスを提供しています。息苦しさを抱えたお客さんたちの心にマヌルさんのアドバイスはどう響くのでしょうか？



『猫だけがその恋を知っている(かもしれない)』

櫻 いいよ／著 集英社

お節介を焼くのは、暇だからー。海・山・川が揃った穏やかな町。そこにはこの町を、この町の人たちを守る猫たちがいる。きょうも猫たちは不器用な大人たちの、不器用な恋を見守りつつ…やれやれ、人間はしょうがないな、ちよいとお助けするか…と腰を上げる。連作短編集小説。



『黒猫を飼い始めた』 講談社／編 講談社

26人の作家による「黒猫を飼い始めた」という1行から始まる、26の物語。えっ？まさか…とゾクリとする展開にページをめくる手が止まりません。ミステリー、サスペンスの要素がぎゅっと詰まった短編集です。1話ずつ完結しているので、怖くなったら途中で読破はあきらめ本をとじましょう。

